

トランペット寄贈について

本学卒業生 林 正道 氏から、トランペット 2 本が寄贈され、平成 24 年 6 月 17 日に開催された本学管弦学部定期演奏会の際に、学長から感謝状が贈呈されました。



<寄贈者>

林 正道 (はやし まさみち) 氏
卒業： 電波工学科 1960 年 (昭和 35 年) 3 月卒業
現職： 内外施設工業 (株) 代表取締役会長

<本学への主な寄附履歴>

H19 コントラファゴット 1 台 (学園活動後援会)
H20 バセットホルン 2 本 (管弦楽部)
5 弦コントラバス 1 台 (管弦楽部)
H24 ロータリートランペット inC (Lechner) 2 本 (大学 (管弦楽部))

<本学への貢献事項>

- ・ 1981 年以來毎定期演奏会に卒業生として出演することで、同楽団の演奏活動に貢献
- ・ 学外の音楽指導者と学生との間の仲立ち

<寄贈に至る思い>

在学時に管弦楽部を設立し、当時の学長が大学としての支援を行い、3 年かけてオーケストラとしての楽器を買い揃えることができたことにとても感謝している。昭和 35 年に初の公開演奏会を行い、以来、毎年、定期演奏会が実施されている。当時、高価で購入希望を出すことが憚られた楽器 (コントラファゴット) を管弦楽部創立 50 周年の記念に寄贈したので、今回は、創立 55 周年にあたり、トランペットの寄附を行った。



<今後に期待すること>

今回、管弦楽部 (電気通信大学管弦楽団) 創立 55 周年にあたり、定期演奏会も続けて行えるようになってきた。これからの楽団が、音色を良いものにしていくきっかけをつくりたいと思い、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団が使用しているものと同じ、ロータリートランペットを寄贈することにした。

<感謝の言葉>

この度は、電気通信大学管弦楽部へロータリートランペット 2 本を御寄贈賜りまして、誠にありがとうございました。また、コントラファゴットを始め多くの楽器の寄贈や、当管弦楽部主催の定期演奏会への直接的または間接的支援など、長きにわたり、様々な支援をいただきまして、部員一同感謝を申し上げます。

今後も、御寄贈いただきました楽器とともに、より素晴らしい演奏を披露できるよう練習に励んでいき、部の発展に尽力したいと存じます。これからも、御指導・御鞭撻を賜りますようお願い致します。

(電気通信大学管弦楽部 部員一同)